



## 年頭ご挨拶

富士通株式会社 代表取締役社長

田中 達也

新年あけましておめでとうございます。読者の皆様方には平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。皆様にとりまして、本年が希望に満ちた実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。

人類は長い歴史の中で、テクノロジーによって、より便利で豊かな社会を実現してきました。中でも、18世紀の産業革命を引き起こした蒸気機関、人々に移動の自由をもたらした自動車の内燃機関、家電製品によって家事労働の軽減を可能にした電力技術などは、非常に大きな変化を社会にもたらしてきました。

今、新たな汎用技術が再び世界を変え始めています。それがデジタルテクノロジーです。これまでの産業革命の推進役となった技術が、いずれも人の身体的活動を代替し補完するものであったのに対し、デジタルテクノロジーは、人の思考や知的活動をサポートするものである点が大きく異なります。したがって、これまでとは質の違う新たな変化を引き起こすことは確実であり、第一次産業革命に勝るとも劣らないインパクトをもたらすと考えられています。これにより、業種や業界を超えた新たなビジネスモデルが次々と登場し、その影響は今も拡大し続けています。

富士通は80年を超える歴史の中で、ICT（情報通信技術）を通じて豊かな社会の実現を目指してまいりました。そして、様々な技術革新を通じてデジタル社会の礎を築いてまいりました。富士通が支えているものには、人と人のコミュニケーションを支える通信インフラ、経済活動になくはない銀行のオンラインシステムや証券取引システム、暮らしを守る自治体や消防のシステム、病院の電子カルテなど、大切な社会インフラが数多く含まれています。また、最先端のコンピューティングテクノロジーで気象予測や防災、創薬や新素材の開発、宇宙研究など、科学技術の発展を支えています。

これまでに培ってきた経験とテクノロジーを活かし、デジタル・トランスフォーメーションを強力に推進していきたいと考えています。中でも、今後大きな役割を果たすと考え、重視しているのは、人工知能（AI）です。富士通は、30年以上AIの研究に取り組んでおり、高速学習技術やメディア処理の分野を強みとしています。これからも、AIの高度化に継続して取り組んでいきます。また、企業におけるあらゆる知的活動をAIによってサポートできると考えており、これに基づき社内実践に積極的に取り組んでいきます。そうすることにより、この技術に対する理解を深め、人、社会、そしてお客様における

価値実現に貢献していきたいと考えています。

AIの活用において重要となるのがデータです。モノのインターネットと言われるIoTにより、あらゆる分野におけるデータ獲得が可能になります。この分野はより多くのチャネルからデータが集まることが重要であり、各業界の皆様とアライアンスを進めております。また、国際的なコミュニティのメンバーとして、標準化活動にも積極的に参画していきます。

テクノロジーがより大きな力を持つ時代には、より大きな責任も伴います。中でもセキュリティは全ての根幹です。富士通は、AIやネットワークの知見を活用した防御技術の高度化に資すると同時に、システムの設計や運用ノウハウなど、総合的なアプローチで、サイバー空間の安全に貢献していきます。

今、世界では、政治や経済の面でも従来の常識や予想を超える大きな変化が次々と起きています。また、急速な都市化の進展や超長寿社会の到来、地球環境問題など、人類はこれまでに経験したことのない課題への対応が求められています。こうした中、変化に対応し新たなビジネスチャンスへと変えること、持続可能な成長モデルを生み出すことが重要です。富士通はテクノロジーを通じて、こうしたテーマに引き続き挑戦してまいります。そして何より、テクノロジーを通じて、人を幸せにすることを目指してまいります。何卒、倍旧のご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。